

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	不妊・不育症治療費補助金				2担当課名	健康推進課							
3予算科目	款	4	項	1	目	1	事業コード	0402					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H20	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市不妊・不育症治療費補助金交付要綱								
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	d不特定団体及び個人												
9交付先	個人												
10補助金の目的	不妊治療費の経済的負担の軽減を図るため												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	不妊治療の結果妊娠した人数(人)												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	不妊治療												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	裾野市不妊治療費補助金 交付要綱												
15補助対象経費の設定の有無	有												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目	不妊・不育症治療費												
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体													
人数													
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	208	304	198										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	10,672	9,542	11,542										
合計	10,880	9,846	11,740										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市	-	-										
助成金	その他	-	-										
事業収入		-	-										
会費(自己負担等)		-	-										
繰越金		-	-										
その他		-	-										
合計		0	0										
市の補助金の割合													

補助金名称	不妊・不育症治療費補助金	担当課名	健康推進課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27	年度
3内容	H28年度から不育症治療費に対する補助を追加				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	不妊・不育症治療費補助金	担当課名	健康推進課
-------	--------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	子育て支援対策として重要であるため継続
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	不妊治療の結果妊娠した人数(人)
2達成状況	23件

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	124件の申請があり、経費負担を軽減し、23人が妊娠に結びついた

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	県の補助金交付要綱の改正に伴い改正する
		見直しの時期	29年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1補助金名称	衛生費補助金				2担当課名	健康推進課			
3予算科目	款	4	項	1	目	2	事業コード 0410		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無						
	開始	S48	年度	～	終期(予定)	—	年度 (終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有		例規名称 裾野市衛生費補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	b事業費補助				
8交付先分類	c特定団体(その他)								
9交付先	沼津食品衛生協会裾野支部								
10補助金の目的	市民の保健および環境衛生を保持増進し健康で住みよい街づくりを推進するため必要な事業を実施する団体または個人に補助を実施する								
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	食品衛生関係事業、食品衛生指導員事業								
13積算根拠の有無	有								
14積算の考え方 計算式	市民の健康管理上必要となる環境衛生を整備、推進するための事業でそれに要する経費の2分の1以内								
15補助対象経費の設定の有無	無								
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金
その他補助対象の項目									
17団体等の構成員数	27年度	28年度	補足						
団体									
人数									
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)				
	27年度	28年度	29年度	補足					
国・県支出金	0	0	0						
その他補助金	0	0	0						
一般財源	190	190	180						
合計	190	190	180						
19団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足						
補助金	市	190	190	食品衛生関係事業、食品衛生指導員事業についての事業効果の判断が難しく、実態に即した所管替え検討も必要と考える。					
助成金	その他	0	0						
事業収入	0	0							
会費(自己負担等)	769	737							
繰越金	29	28							
その他	214	219							
合計	1,202	1,174							
市の補助金の割合	16%	16%							

補助金名称	衛生費補助金	担当課名	健康推進課
-------	--------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	衛生費補助金	担当課名	健康推進課
-------	--------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業内容の精査による再検討が必要
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	
2達成状況	

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	概算払いの規定を入れ、補助金交付規則に沿うよう見直しを行う
		見直しの時期	29年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1 補助金名称	市遺族会補助金				2 担当課名	社会福祉課					
3 予算科目	款	3	項	1	目	1	事業コード	0301			
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度 ~ 終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市福祉関係団体事業費補助金交付要綱						
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助					
8 交付先分類	b特定団体(市事務局)										
9 交付先	裾野市遺族会										
10 補助金の目的	戦没者遺族が助け合い、平和郷土の建設と福祉の向上のため。										
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	平和郷土の建設と戦没者遺族の福祉の向上。										
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	静岡県、裾野市又はその他関係機関が行う事業への協力に要する経費 連絡調整、研修及び会議等を行うために必要な経費 その他戦没者遺族の福祉増進のための活動に要する経費										
13 積算根拠の有無	無										
14 積算の考え方 計算式											
15 補助対象経費の設定の有無	無										
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金		
その他補助対象の項目											
17 団体等の構成員数	27年度	28年度	補足								
団体	1	1									
人数	495	482									
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)						
	27年度	28年度	29年度	補足							
国・県支出金	0	0	0								
その他補助金	0	0	0								
一般財源	573	573	573								
合計	573	573	573								
19 団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足								
補助金	市		573	573							
助成金	その他		65	65							
事業収入			97	354							
会費(自己負担等)			427	402							
繰越金			111	168							
その他			798	776							
合計			2,071	2,338							
市の補助金の割合			28%	25%							

補助金名称	市遺族会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	---------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	戦没者遺族が助け合い、平和郷土の建設と福祉の向上を目的としているため
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	×	戦後70年以上が経過しているため
③広く市民生活の向上に貢献するか	×	一部市民のみを対象としているため
④市民ニーズが高い事業か	×	一部市民のみを対象としているため
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	戦没者に弔意を示すため
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	活動の性質上、事業収入がなく、活動費の半分を補助金や助成金が占めているため。
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	すべての遺族が加入していないため
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額の積算が不明瞭である。

補助金名称	市遺族会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	---------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定なし
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	前年踏襲
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	平和郷土の建設と戦没者遺族の福祉の向上。
2達成状況	事業の適正実施が行われている。

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	事業により戦没者遺族の福祉へ寄与している。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	戦没者遺族の福祉向上のため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1 補助金名称	市郷友会補助金				2 担当課名	社会福祉課							
3 予算科目	款	3	項	1	目	1	事業コード	0301					
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市福祉関係団体事業費補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助							
8 交付先分類	b特定団体(市事務局)												
9 交付先	裾野市郷友会												
10 補助金の目的	戦没者の英霊顕彰及び平和郷土の建設と福祉の向上のため。												
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	平和郷土の建設、戦没者の英霊顕彰。												
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	静岡県、裾野市その他関係機関が行う事業への協力に要する経費 連絡調整、研修及び会議等を行うために必要な経費 その他戦没者の英霊顕彰及び平和郷土の建設と福祉の向上のための活動に要する経費												
13 積算根拠の有無	無												
14 積算の考え方 計算式													
15 補助対象経費の設定の有無	無												
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17 団体等の構成員数	27年度	28年度	補足										
団体	1	1											
人数	698	661											
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27年度	28年度	29年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	121	121	121										
合計	121	121	121										
19 団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足										
補助金	市		121	121									
助成金	その他		0	0									
事業収入			0	0									
会費(自己負担等)			248	235									
繰越金			37	75									
その他			48	108									
合計			455	540									
市の補助金の割合			27%	22%									

補助金名称	市郷友会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	---------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	戦没者の英霊顕彰及び平和郷土の建設と福祉の向上を目的としているため
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	×	戦後70年以上が経過しているため
③広く市民生活の向上に貢献するか	×	一部市民のみを対象としているため
④市民ニーズが高い事業か	×	一部市民のみを対象としているため
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	×	ない
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	×	郷友会の事業が行われなくなるが、マイナスはない
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	不明
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	郷友会以外の類似団体がない
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額の積算が不明瞭である。

補助金名称	市郷友会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	---------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定なし
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	前年踏襲
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	△	繰越金の額が過大と感じる。 目的性のある積立金等に移行する必要があると考える。
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	平和郷土の建設、戦没者の英霊顕彰。
2達成状況	目的が達せられているとはいいがたい

3補助効果の評価	c効果が疑問である
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	補助金の目的が福祉のためなのか？補助金の範囲の明確化を図る。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	県アイバンク補助金				2担当課名	社会福祉課		
3予算科目	款	3	項	1	目	1	事業コード	0301
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市福祉関係団体事業費補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	a運営費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	静岡県アイバンク							
10補助金の目的	視力及び機能不全の回復に資するため、眼球組織の移植の普及促進を図るため。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	眼球組織の移植による視力及び機能不全の回復に資すること。							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	眼球提供者の募集及び登録に関する事業、提供される眼球の摘出・検査・保存並びにあっせんに関する事業等							
13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	人口5万人以上規定							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足					
団体	1	1						
人数								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	27 年度	28 年度	29 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	11	11	11					
合計	11	11	11					
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足					
補助金								
助成金	市	0	11					
	その他	0	2,570					
事業収入		0	33,660					
会費(自己負担等)		0	758					
繰越金		0	21,539					
その他		0	3,727					
合計		0	62,265					
市の補助金の割合			0%					

補助金名称	県アイバンク補助金	担当課名	社会福祉課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	眼球組織の移植の普及を目的
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	継続している
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	間接的に関与することとなる
④市民ニーズが高い事業か	△	当市民のニーズ把握が困難
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	普及活動に間接関与
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	×	無し
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	×	負担金が望ましい
⑧最適な補助対象か	○	眼球組織移植に対する効果的な機関である
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	不明
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	競合団体への補助規定無し
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	特定補助

補助金名称	県アイバンク補助金	担当課名	社会福祉課
-------	-----------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定なし
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	補助対象での規定となっている
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	明確になっている
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	経費には含まれていない
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	人口
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	×	繰越金が増加している
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	△	補助金の履行確認はされていない

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	眼球組織の移植による視力及び機能不全の回復に資すること。
2達成状況	事業補助でないため、補助効果は測れないが、アイバンクの目的は達成されている。

3補助効果の評価	dその他
4評価の理由	団体の事業・意義に賛同するものであり、負担金が望ましい

(7) 今後の方向性

今後の方向性	c廃止する		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由	負担金に移行。	その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1 補助金名称	高齢者生きがい支援事業補助金				2 担当課名	社会福祉課		
3 予算科目	款	3	項	1	目	1	事業コード	0301
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市地域ふれあい塾補助金交付要綱			
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助		
8 交付先分類	a区・自治会(自主防災会含)							
9 交付先	0							
10 補助金の目的	家に引きこもりがちな高齢者に外出及び地域の人々と交流する機会を与え、健康で生きがいを持った生活を送ること。							
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者に生きがいを持って生活を送ってもらうことで、健康増進、介護予防に寄与する。							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	高齢者が集まるイベントを実施。 (健康講座・創作活動・グランドゴルフ大会等)							
13 積算根拠の有無	有							
14 積算の考え方 計算式	24,000 × 35							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足					
団体								
人数								
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	27 年度	28 年度	29 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	768	816	888					
合計	768	816	888					
19 団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足					
補助金			事業費補助となる					
助成金								
市	0	0						
その他	0	0						
事業収入	0	0						
会費(自己負担等)	0	0						
繰越金	0	0						
その他	0	0						
合計	0	0						
市の補助金の割合								

補助金名称	高齢者生きがい支援事業補助金	担当課名	社会福祉課
-------	----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	地域における生きがい対策又は介護予防活動が目的
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	△	事業の定期開催が希薄化している
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	高齢者に限定される
④市民ニーズが高い事業か	△	高齢者に限定される
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	×	無し
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	在宅高齢者の増進に寄与している
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	△	委託が検討できる
⑧最適な補助対象か	○	望ましい対象者である
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	助成額に対し効果が大きいと考える
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	定期開催が困難な事業がある
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	地区は申請が可能
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	高齢者生きがい支援事業補助金	担当課名	社会福祉課
-------	----------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定なし
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	事業費補助
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	事業にかかる経費
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	事業費補助
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	定まっていない
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	事業経費以内の補助
⑦類似した補助金はないか	△	地区助成に一本化が可能
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	×	地区により差異あり
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	無し
⑩履行確認は、適切にできているか	○	完了報告を求めている。

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者に生きがいを持って生活を送ってもらうことで、健康増進、介護予防に寄与する。
2達成状況	各地区の実情にあった事業展開がなされることにより、地域福祉が増進している。

3補助効果の評価	dその他
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	7/26地区振興係と協議。自治会補助金への一本化も可能であるが、現申請対象区が35程度であり、85地区へ配る場合は金額増になる。自治会補助金の見直しが全庁的な検討の余地があり再度協議が必要	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	地区助成に移行、もしくは委託を検討すべき
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	簡易老人いこいの家設置費補助金				2担当課名	社会福祉課							
3予算科目	款	3	項	1	目	2	事業コード	0307					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		不明	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		簡易老人いこいの家設置事業補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	d不特定団体及び個人												
9交付先	地区												
10補助金の目的	高齢者にリクエーション等、集まる場を与え、心身の健康の増進を図る。												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の心身の健康の増進。												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	簡易老人いこいの家設置、修繕費用。												
13積算根拠の有無	無												
14積算の考え方 計算式	当該事業に要する経費の二分の一で、上限を25万円とする。												
15補助対象経費の設定の有無	有												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目	改造費、備品購入費												
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体													
人数													
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	250	0	250										
合計	250	0	250										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金			事業補助、申請があった際に助成										
助成金													
市	0	0											
その他	0	0											
事業収入	0	0											
会費(自己負担等)	0	0											
繰越金	0	0											
その他	0	0											
合計	0	0											
市の補助金の割合													

補助金名称	簡易老人いこいの家設置費補助金	担当課名	社会福祉課
-------	-----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	地域の老人に対し教養の向上、リクリエーション等の場を与え、もって老人の心身の健康の増進を図るため。
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	1地区1回と制限がなされている
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	地域高齢者福祉の向上
④市民ニーズが高い事業か	○	地域高齢者福祉の向上
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	×	無し
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	×	無し
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	地区事業の自主性が尊重される
⑧最適な補助対象か	○	自治組織に助成がなされる
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	補助対象が明確に設定されている
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	1地区1回の制限がなされている
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	1地区1回の制限がなされている

補助金名称	簡易老人いこいの家設置費補助金	担当課名	社会福祉課
-------	-----------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	単年度1回限り
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	見積書の添付を要する
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	要綱で明確になっている
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	含まれていない
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	1/2である
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	事業補助であり存在しない
⑦類似した補助金はないか	○	事業費補助は重複なし
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	事業補助であり存在しない
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	完成払

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の心身の健康の増進。
2達成状況	前年度、補助申請なし

3補助効果の評価	dその他
4評価の理由	前年度、補助申請なし

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	高齢者の地域生活での居場所づくりに効果的である地区助成への移行も検討。 健福で持つか、地区振興にもっていけるかどうかは相談する。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1 補助金名称	裾野市身体障害者福祉会補助金			2 担当課名	障がい福祉課								
3 予算科目	款	3	項	1	目	3	事業コード	0312					
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市福祉関係団体事業費補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成			7 性質別分類②	a運営費補助								
8 交付先分類	c特定団体(その他)												
9 交付先	裾野市身体障害者福祉会												
10 補助金の目的	身体障害者及び家族会員間の親睦を深めることにより、日ごろ生活等に関する相談を相互で行い、スポーツイベント等の参加により社会参加の機会を増やす。また障害についての学習機会を設ける。												
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	障害者の自立支援及び地域が支える環境の醸成												
12 補助対象者・団体が補助金で行う活動	研修会、勉強会等の啓発事業 スポーツ大会等への参加 相談会・親睦会												
13 積算根拠の有無	無												
14 積算の考え方 計算式													
15 補助対象経費の設定の有無	有												
16 補助対象経費の内容	交際費	—	慶弔費	—	飲食費	—	懇親会費	—	積立金	—			
その他補助対象の項目	事業費(イベント参加費) 研修会費 事務費												
17 団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	1	1											
人数	117	110											
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	563	563	563										
合計	563	563	563										
19 団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市	563	563										
助成金	その他	0	0										
事業収入	118	112											
会費(自己負担等)	393	313											
繰越金	217	274											
その他	124	161											
合計	1,415	1,423											
市の補助金の割合	40%	40%											

補助金名称	裾野市身体障害者福祉会補助金	担当課名	障がい福祉課
-------	----------------	------	--------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26	年度
3内容	減額(H25:580→H26:563)				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市身体障害者福祉会補助金	担当課名	障がい福祉課
-------	----------------	------	--------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	△	終期設定に馴染まないため
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	市補助金依存率について検討する
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	障害者の自立支援及び地域が支える環境の醸成
2達成状況	活動を継続することで普及及び啓発につながっている

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	自立に向けて真摯に事業に取り組んでいる。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業補助への移行及び他市町との比較検討
		見直しの時期	平成29年度

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1補助金名称	精神保健福祉会 すそのきせがわ会補助金			2担当課名	障がい福祉課					
3予算科目	款	3	項	1	目	3	事業コード	0312		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	不明	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市福祉関係団体事業費補助金交付要綱							
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	a運営費補助					
8交付先分類	c特定団体(その他)									
9交付先	すそのきせがわ会									
10補助金の目的	精神障害者及び家族会員間の親睦を深めることにより、日ごろ生活等に関する相談を相互で行い、スポーツイベント等の参加により社会参加の機会を増やす。また障害についての学習機会を設ける。									
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	障害者の自立支援及び地域が支える環境の醸成									
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	研修会、施設見学会等の啓発事業 家族交流会 社会参加活動									
13積算根拠の有無	無									
14積算の考え方 計算式										
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	—	慶弔費	—	飲食費	—	懇親会費	—	積立金	—
その他補助対象の項目	事業費(イベント参加費) 研修会費 事務費									
17団体等の構成員数	27年度	28年度	補足							
団体	1	1								
人数	19	19								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	27年度	28年度	29年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	63	63	63							
合計	63	63	63							
19団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足							
補助金	市	63	63							
助成金	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費(自己負担等)	79	75								
繰越金	173	179								
その他	10	70								
合計	325	387								
市の補助金の割合	19%	16%								

補助金名称	精神保健福祉会 すそのきせがわ会補助金	担当課名	障がい福祉課
-------	---------------------	------	--------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26	年度
3内容	減額(H25:65→H26:63)				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	精神保健福祉会 すそのきせがわ会補助金	担当課名	障がい福祉課
-------	---------------------	------	--------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	△	終期設定に馴染まないため
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	事業内容に見合った補助額を検討する
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	障害者の自立支援及び地域が支える環境の醸成
2達成状況	活動を継続することで普及及び啓発につながっている

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	自立に向けて真摯に事業に取り組んでいる。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業補助への移行及び身体者障害者福祉会補助金との統合を検討
		見直しの時期	平成29年度

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	裾野市児童一時預かり事業補助金				2担当課名	子育て支援課							
3予算科目	款	3	項	2	目	1	事業コード	0341					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市児童一時預かり事業補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	c特定団体(その他)												
9交付先	裾野市シルバー人材センター												
10補助金の目的	小学生の一時預かり、子育て世帯支援												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	核家族等の子供の預かりによる安心感の機運の醸成。												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	小学生の一時預かり												
13積算根拠の有無	無												
14積算の考え方 計算式	(人件費+光熱水費+保険料)-利用者負担金												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体													
人数													
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	157	177	197										
合計	157	177	197										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市	0	0										
助成金	その他	0	0										
事業収入	0	0											
会費(自己負担等)	0	0											
繰越金	0	0											
その他	0	0											
合計	0	0											
市の補助金の割合													

補助金名称	裾野市児童一時預かり事業補助金	担当課名	子育て支援課
-------	-----------------	------	--------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	放課後児童室に入室できない児童の預かりである。
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	利用者が限定的である。
④市民ニーズが高い事業か	△	利用者が限定的である。
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	△	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	△	補助金交付要綱で交付先はシルバー人材センターに限定されている。
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	利用者が限定的
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市児童一時預かり事業補助金	担当課名	子育て支援課
-------	-----------------	------	--------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定していない
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	定めていない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	明確でない
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	利用者数(利用者負担金)によるため
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	事業の広報活動に努めている
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	核家族等の子供の預かりによる安心感の機運の醸成。
2達成状況	利用者数拡大の努力が必要

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	少数ながら利用者はいるため

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	裾野市地域活動事業補助金				2担当課名	子育て支援課							
3予算科目	款	3	項	2	目	4	事業コード	0355					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		不明	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市地域活動事業補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	a運営費補助							
8交付先分類	c特定団体(その他)												
9交付先	母親クラブ(5)												
10補助金の目的	母親クラブの交流や文化活動												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	母親の孤立化を防ぎ交流を図る。 子育て世代の支援と世代間の交流。												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	南児童館まつり、各種クラブの行事等												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	100,000円/1団体												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	5	5											
人数	134	141											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	845	842	500										
合計	845	842	500										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金 助成金	市	845	842										
	その他	0	0										
事業収入	354	302											
会費(自己負担等)	158	150											
繰越金	19	44											
その他	0	0											
合計	1,376	1,338											
市の補助金の割合	61%	63%											

補助金名称	裾野市地域活動事業補助金	担当課名	子育て支援課
-------	--------------	------	--------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	29年度より補助金を減額(1団体15万円を10万円に)し、会員数割を無くした。				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	団体の活動が困難になる。
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	会員数拡大の必要がある
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	会員数拡大の必要がある
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市地域活動事業補助金	担当課名	子育て支援課
-------	--------------	------	--------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定していない
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	定額のため
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	明確でない
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	△	29年度から指導している
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	29年度より再補助なし
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	母親の孤立化を防ぎ交流を図る。 子育て世代の支援と世代間の交流。
2達成状況	会員数拡大の努力が必要

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	子育て中の母親たちの交流の場として必要である

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	子育て中の母親たちの交流の場として必要である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	児童福祉施設補助金(国県補助分)				2担当課名	子ども保育課							
3予算科目	款	3	項	2	目	2	事業コード	0345					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市児童福祉施設補助金交付要綱								
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	c特定団体(その他)												
9交付先	該当事業を実施する市内私立保育園4園												
10補助金の目的	事業を実施する保育所の運営体制を強化する												
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	多様化する利用者の受け入れ												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	多様化する利用者の受け入れ(時間延長・乳児保育等)												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	子ども子育て支援交付金交付要綱による												
15補助対象経費の設定の有無	有												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目	運営費												
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	4	5											
人数	422	443											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	49,469	48,062	49,533	委託事業分を含む									
その他補助金	0	0	0										
一般財源	44,326	44,850	48,282										
合計	93,795	92,912	97,815										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市	-	-										
助成金	その他	-	-										
事業収入		-	-										
会費(自己負担等)		-	-										
繰越金		-	-										
その他		-	-										
合計		0	0										
市の補助金の割合													

補助金名称	児童福祉施設補助金(国県補助分)	担当課名	子ども保育課
-------	------------------	------	--------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27	年度
3内容	国の制度改正				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	児童福祉施設補助金(国県補助分)	担当課名	子ども保育課
-------	------------------	------	--------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	△	国の制度
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補 助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	△	法人として監査を受けている
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	多様化する利用者の受け入れ
2達成状況	目的を達成している(保育所の運営)

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	安定した施設の運営がなされている

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	国の制度に準拠	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1 補助金名称	私立幼稚園運営費等補助金				2 担当課名	子ども保育課		
3 予算科目	款	10	項	4	目	1	事業コード	1045
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度
					～		終期(予定)	—
							年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市市立幼稚園運営費等補助金交付要綱			
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	市内私立幼稚園							
10 補助金の目的	幼児教育の充実振興と公・私立幼稚園間の格差是正を図るため、裾野市内私立幼稚園の経営者等に対し、特別の助成を行うもの。							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公・私立幼稚園間の格差是正を図り、幼児教育の円滑な実施に資する。							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	私立幼稚園運営							
13 積算根拠の有無	有							
14 積算の考え方 計算式	600,000円/園+10,000円×職員数+1,000円×園児数							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	
							積立金	
その他補助対象の項目	運営費							
17 団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足					
団体	3	3						
人数	291	278						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	27 年度	28 年度	29 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	2,844	2,861	2,875					
合計	2,844	2,861	2,875					
19 団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足					
補助金	市		2,844	2,861				
助成金	その他		0	0				
事業収入			0	0				
会費(自己負担等)			0	0				
繰越金			0	0				
その他			0	0				
合計			2,844	2,861				
市の補助金の割合			100%	100%				

補助金名称	私立幼稚園運営費等補助金	担当課名	子ども保育課
-------	--------------	------	--------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26	年度
3内容	均等割額の引き下げ				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	私立幼稚園運営費等補助金	担当課名	子ども保育課
-------	--------------	------	--------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	△	受け入れ計画による
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	△	法人として監査を受けている
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公・私立幼稚園間の格差是正を図り、幼児教育の円滑な実施に資する。
2達成状況	目的を達成している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	安定した施設の運営がなされている

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	国の制度変更に伴い重複する制度ができた場合に見直す必要がある
		見直しの時期	制度改正
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	私立幼稚園就園奨励費補助金				2担当課名	子ども保育課							
3予算科目	款	10	項	4	目	1	事業コード	1045					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱								
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	dその他							
8交付先分類	d不特定団体及び個人												
9交付先	個人												
10補助金の目的	幼稚園教育の振興のため、幼稚園に就園する幼児の保護者に対し、家庭の所得状況に応じて経済的負担を軽減を図り、就園の機会を確保する。												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	幼稚園に就園する機会の確保。												
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	幼稚園への就園。												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	国補助限度額による												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目	保育料												
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	-	-											
人数	-	-											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	8,785	9,663	7,603	国庫の予算配分 (概ね1/3)									
その他補助金	0	0	0										
一般財源	21,153	21,876	24,983										
合計	29,938	31,539	32,586										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金													
助成金													
市	-	-											
その他	-	-											
事業収入	-	-											
会費(自己負担等)	-	-											
繰越金	-	-											
その他	-	-											
合計	0	0											
市の補助金の割合													

補助金名称	私立幼稚園就園奨励費補助金	担当課名	子ども保育課
-------	---------------	------	--------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26	年度
3内容	国の制度改正				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	△	利用者負担の軽減を目的としている
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	私立幼稚園就園奨励費補助金	担当課名	子ども保育課
-------	---------------	------	--------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	国の制度
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補 助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	幼稚園に就園する機会の確保。
2達成状況	目的を達成している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	利用者負担が軽減されている

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	国の制度に準拠	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			